

小節	練習曲と留意点	備考
遠くへ行きたい		11/6 県芸術祭
1～4 小節	①頭のアクセントを忘れずに ②2&4 小節の#が付いた2分音符は明るめの発声で	T1・T2
30～32 小節	“ゆめーは一るかー”はパート間でことばとリズムを合わせて	全
34 小節	ラ/シの和音で“ラ”を少し控えて	Br
39～40 小節	“どーこかとおーくへ”の“どーこか”の発音をハッキリと	T2・Br
海、その愛		11/16 県芸術祭
4～6&58～60 小節	小さい音符の音の確認	T1
11.&21 小節	“やぶれーてもー”と“よみなーがらー”のフォルダメントが気になる (45、47、53、55 小節も同様に注意のこと)	全
30～32 小節	“おとこのーおもーいを”は一気に途切れずに	全
33～34 小節	“…だきとーめてー”の“だ”はD子音を立てて	全
38 小節	“…のーだー”のシ(8分音符)の音をシッカリと	T1
44～46 小節	16分音符のことばと音をハッキリと (活舌よく)	全
68 小節	cresc.の終りの音程(ハモニ)が乱れないように (最後のひと押しをやめて) 他に26、34、80小節も同様に	全
かきつばた		
全般	急に上にあがる (3～4度以上でオクターブがMAX) 時、最初は細く当ててその後響かせるように	全
21～22 小節	“…ちいきえた”の“い”から“き”のファへシッカリ上がって	T1
23～29 小節	Poco a poco cresc.はmfからfまで。26小節以降音程が降下するので音量も下がり気味だが、音量を保って29小節のfへ	全
夜の霰		
7 小節	“そう(お)して”の“そ”はS子音を立てて	全
32～35 小節	“よめにしろく…”は音量がmpだが飛び跳ねる発音が全員がシッカリして聞こえるように。44～47小節も同じように	T1・T2
雨後		
全般	cresc.とdecrec.の音量の変化を楽譜通りにキッチリ守って	全
1～3 小節	mfからのcresc.で、3小節はf(フォルテ)で通す(4小節で落着く)	全
5 小節	“ゆうーぐれ…”の“ゆ”はi YUのiを強調して。36小節も同	全
11～12 小節	“…はなれー”のdecrec.は最後まで音を響かせて。4小節も同	全
23～24 小節	#が付いた音のハミング(m)の音程の変化をシッカリと	T1・T2
32～33 小節	“ひとつー”の“ひ”はH子音を立てて (2回とも)	全
無縁坂		
3～6 小節	音量の変化 (pp→mf→pp) に注意	全
7～12 小節	16分音符のシンパーションを合わせて。特に複数パートで歌うとき (23～29、31～32、41～48、57～63、66～67、74～75小節も同じ)	全
14～15 小節	音量の変化に注意 (mp→ λ °→decrec. →p) 22～23・26～27・48～49・56～57・60～61小節も同じ(音量は違う)	T2 T1・T2・Bs
30 小節	“そうおもうー”の発音は、SO・O・O・MO・Uのように	T2・Br
56～64 小節	fから絞ってmpへpoco a poco cresc.してffへ、絞ってmfへpoco a poco cresc.してffへ。T2・Brの旋律を生かしながら	T1・Bs
79～83 小節	①“ははの…”の前でブレス。最後までノンブレス ②81小節からppとなりriten. もかかるが音程を保って	

琵琶湖周航の歌		
13～16 小節	13～14 小節は mp のままで 15 小節から cresc.となる	全
52 小節	“なみまくら一”は 53 小節の ff に向かってシッカリと	Br
62～64 小節	62 小節から少し rit.を始める	全
My Way		
全般	①最初は音量を控え目に、だんだんに盛り上がって ②フレーズの途中ではブレスなし ③4 拍目の裏拍でタテの線を合わせるように：4、8、19、23、 46、52、55、56、69、78、83 小節	全

*歌い方は歌い込みとともに改善されるものなので最新のテキストを優先してください。

T1：市村